令和２年度　森林環境譲与税の使途

事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	実績																			税導入の効果
							森林整備関係								人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用					
							森林経営管理法に基づく経営管理意向調査実施面積（ha）	間伐等実施面積			路網整備			その他	事業体等への助成		研修、講習、求人イベント等		その他	研修や普及啓発イベント等		その他	公共施設等の木材利用			その他	その他	
		(A)+(B)+(C)	(A)うち令和２年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）	(C)うち他の財源（千円）			間伐（ha）	除伐（ha）	その他（作業種、実績値を記載）	林道・林業専用道の開設延長(m)	森林作業道の開設延長(m)	その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数(回)	参加者数（人）		回数(回)	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)	うち国産材(m3)			
意向調査	新たな森林管理システム構築事業	14,300	14,300	0	0	森林の現況調査や森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査、経営管理権集積計画（案）作成に係る森林所有者への同意取得、境界の明確化等を委託。	468							集積計画（案）作成による調査実施面積 78.67ha														【ワンフレーズ】 意向調査について、神郷地区：468haの森林所有者からアンケート調査を行った。また、経営管理権集積計画（案）の作成については、昨年度の意向調査結果を基づき、大佐地区：33名（78.67ha）を対象に林分調査など確認を行い、森林組合への委託を希望する者が16名、自分で管理するものが14名、その他売却希望が3名の結果となった。 また、昨年度より引続き実施している木質バイオマス利用促進事業については、約3万ｔの木材が使用された。 【詳細】 【背景・課題】 本市は中山間地域に位置し、林業労働力が減少している中、担い手の育成・確保と適切な森林整備の実施が必要である。 【活用方針】 意向調査は７年計画で実施し、次年度は哲西地区が意向調査の対象地区となり、本年度に意向調査を終えた神郷地区において、経営管理権集積計画を検討・策定する。収入間伐など林業経営が可能な山林は森林経営計画への参画を基本とし、経営管理実施権の設定を行い、担い手の対策や木材利用を実施しながら、地域の森林整備を推進する。 【活用の効果】 意向調査は62.0％（88名／142名）の回答を得ることができた。 木質バイオマス利用推進については、延長：6,177ｍの作業道が新たに開設された。 木材・普及啓発については　昨年度に引続き、誕生祝い品事業として、1歳6ヵ月児153人に地産地消の木のおもちゃを記念配付した。 また、本年度より木育振興を目的に新見産木材を活用したクミノ（木組みのつみき）を購入し、市内保育施設等13箇所に1セット（504ピース）ずつ贈呈し、それに伴い、市内保育施設の職員を対象にクミノを有効活用できるよう、概要や遊び方などの講習会を開催した。 【次年度以降の予定】 前年度同様に意向調査等を実施し、残額については、意向調査後の森林整備、特に市町村自らによる森林整備（市町村森林経営管理事業）に充当するため基金への積み立てを行い、また、本市の実情に合わせて必要な施策を検討し、譲与税の活用を図る。
森林整備	市有林整備事業	4,268	4,268	0	0	市有林について、ドローンによる収穫調査をモデル的に実施（委託）するもの。								市有林調査実施面積45ha														
木造公共建築物の整備等	大佐山大日高原風の聖域施設整備事業	9,999	9,999	0	0	市内アウトドア施設において、木造の付属施設（炊事棟）を新設するもの。																	1	7.7182	7.7182			
木質バイオマス利用推進	木質バイオマス利用促進事業	15,087	15,087	0	0	木質バイオマス発電所への未利用材の安定的な供給体制整備と森林整備の促進を目的に林地残材を未利用材としてチップ工場に搬出した場合の森林所有者に対する搬出補助。																				木材使用量 29,963ｔ	
私有林整備	木質バイオマス利用促進事業	3,023	3,023	0	0	木質バイオマス発電所への未利用材の安定的な供給体制整備と森林整備の促進を目的に林地残材を未利用材としてチップ工場に搬出した場合の作業道の開設補助。						6,177														木材使用量 1,932ｔ	
木材・普及啓発関係	ウッドスタート事業	6,322	6,322	0	0	幼い頃から暮らしの中に木材製品を取り入れ、木の好きな人を育てる「木育」を推進することにより、市内での木材利用の促進及び木材加工分野の活性化を図る。 誕生祝い品として、１歳６カ月児に地産地消の木のおもちゃを配布している。 また、市内保育施設に新見産材を活用した木のおもちゃを配布している。													3回	52人	・1歳6ヵ月児に木のおもちゃを配布　153人 ・市内保育施設に木のおもちゃを配布　13施設						
基金積立（森林整備等）		55,984	55,981	0	3	今後増大すると予想される森林経営管理法に基づく市町村自らによる森林整備（市町村森林経営管理事業）に備えた積立。																						